A:十分できている。 B:ほぼできている。 C:あまりできていない。 D:できていない。

自立と社会参加に向けた指導の充実		A+Bが90%以上		C+Dが20%以上	
		A	B	C	D
1	学校は、教育的ニーズや合理的配慮を基に、目標について保護者やお子さんとの共通理解を図り、個に応じて自立や社会参加に向けた学習指導を行っている。	56.7%	43.3%	0.0%	0.0%
2	学校は、中学部・高等部の学科や学習内容、また、高等部卒業後の進路に関する情報を提供し、お子さんの実態に応じて、将来の進路や職業について指導している。	51.8%	44.8%	1.7%	1.7%
3	学校は、交流及び共同学習を実施している。今年度、幼稚部ではひまわり保育園との交流会、小学部では大槻小学校との交流及び共同学習(クラブ活動)、中学部では片平中学校との交流や中体連への参加、高等部では郡山北工業高等学校とのオンラインによる共同学習や部活動の大会等の参加による交流活動を行っている。	43.9%	49.1%	5.3%	1.7%
4	寄宿舎は、自立に向けた生活習慣を身に付けるため、担任や家庭と連携し、お子さんの実態に応じた生活指導を行っている。 (中学部:基本的生活スキルの獲得 高等部:自立と社会参加に向けた指導)【寄宿舎生のみ】	58.6%	41.4%	0.0%	0.0%
主体的に思考する力と豊かな心の育成					
5	学校は、子ども一人一人の言語力を高め、子どもが主体的に思考し、自ら学ぶ力を育むための授業を行っている。	61.0%	33.9%	5.1%	0.0%
6	学校は、「図書だより」を通して推薦図書を紹介したり、新刊図書や授業と関連のある図書を閲覧できるように図書館や図書コーナーの環境を整えたりするなど、読書活動を推進している。	45.6%	52.6%	1.8%	0.0%
7	学校は、奉仕体験やボランティア活動、係活動に積極的に取り組み、子ども達の豊かな心を育てている。(幼小小学部では自分でできることから学級や学部のための係活動や児童会活動、中高等部では生徒会活動やボランティア活動を設定している。)	50.9%	45.6%	3.5%	0.0%
8	学校は、食育を通じて心身の健やかな成長及び健康の保持増進について指導するとともに、感染症予防のための指導や対策をしている。	65.5%	32.8%	1.7%	0.0%
一人一人の実態を踏まえた言語力の育成					
9	学校は、聴覚障がい教育に関する研修を行い、教員の専門性向上に努めている。 (学校では、教員の専門性向上を目的とした基本研修会(ことばの学びについて、補聴器や人工内耳等)、ミニ研修会(授業での配慮や手話表現等)、指導力・授業力の向上を目的とした専門研修会(外部講師を招聘した授業研究等)などの研修を行っている。)	51.7%	41.4%	6.9%	0.0%
10	学校は、一人一人の障がいの実態に合わせたコミュニケーション手段を用いた教育活動を行っている。また、手話や聴覚活用・読話の専門性を高められるよう研修に努めている。	55.9%	42.4%	1.7%	0.0%
11	学校は、学部研修を行い、一人一人の実態や課題を共有し指導方法の改善に努めている。	53.6%	44.6%	1.8%	0.0%
安全で安心な学校づくり					
12	学校は、社会のルールやマナーを守り、自ら考えて行動する力を育てるための指導をしている。	59.3%	37.3%	3.4%	0.0%
13	おさんは、楽しく学校に通っている。	62.7%	35.6%	1.7%	0.0%
14	学校は、避難訓練や交通安全教室、情報モラル講座等をとおして幼児児童生徒が安全に生活するために指導するとともに、個人情報の管理を行っている。	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
15	寄宿舎は、子どもたちの健康の保持と安全の確保を行っている。(梅雨期の衛生・感染症予防等の衛生指導、年4回の避難訓練、防犯指導など)【寄宿舎生のみ】	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%
16	学校は、防災教育や放射線教育について取り組んでいる。	47.3%	50.9%	1.8%	0.0%
センター的機能の充実					
17	学校は、地域や保護者へ専門性を活かした支援を行っている。	49.1%	49.1%	1.8%	0.0%
18	学校は、基本研修会や保護者を対象としたまなびあいサロンなどの聴覚障がいに関する研修会を開催し、聴覚障がいや支援のための情報を地域に提供している。	53.4%	44.8%	1.8%	0.0%
19	学校は、おたよりやホームページで学校の取り組み状況を知らせている。	55.0%	45.0%	0.0%	0.0%

<学校評価アンケートより>

- ・今年から少しずつ交流の実施や各種大会への参加が可能となってきました。感染状況を見ながら、子どもたちが安心して活動できるよう環境を整え、できる限り交流の場を設けていきます。
- ・読書活動については、教室の近くに図書コーナーを設置するなどの取組の結果から、子どもたちが本を手にする姿がよく見られるようになりました。これからも学校全体で工夫を凝らしながら、より一層読書推進活動に取り組んでいきます。
- ・子どもたちの言語力育成を目指し、教職員の指導力・授業力向上のための研修を定期的実施しています。より一層研修に努めるとともに、研修の様子を学校のホームページをとおして保護者の皆様にお知らせし、学校と家庭で連携しながら子どもたちの力を伸ばしていきます。

<保護者からの意見要望に関して>

- ・学習発表会の保護者の入場制限についての意見をいただきました。学習発表会ではご協力いただきありがとうございました。皆様のご協力のもと、無事安全に開催することができました。本来であれば子どもたちの学習の成果をより多くのご家族の皆様に見ていただきたいところですが、子どもたちの安全を第一に考え、今後も新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら、可能な形で行事を実施していきます。
- ・手話の学習に関する要望がありました。手話は大切な言語です。複雑な気持ちを伝えたり、喜びや感動を共有したりと子どもたちの心からあふれる声を手話でも表現できるよう、各学部で手話の授業を進めています。
- ・アンケート内容の見直しに関する意見をいただきました。保護者の皆様へ学校の取組や学校での様子がより伝わるよう、情報発信に努めます。
- ・寄宿舎へのご要望については、教頭を通じてご相談ください。
- ・その他いただきましたご意見ご要望に関しては、今後学校で検討していきます。